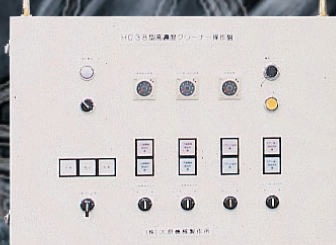


High Consistency Cleaner



HC7型/HC11型/HC19型/HC38型

高濃度クリーナー

原料中に含まれている金属、砂など
パルプ繊維より比重の重い異物除去に威力を発揮します。

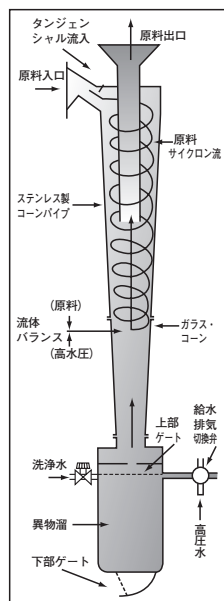
■特徴

本機の特徴は、経済性に極めてすぐれていることです。

- ①高濃度クリーナーの原料濃度は、3～5%と高濃度で、原質調成工程の処理濃度と同一です。
- ②紙料送込ポンプと僅かなバランス用清水があれば、連続的に異物の除去ができます。
- ③本体接液部は、ステンレス鋳鋼製ですから、耐蝕、耐摩耗性に優れます。
- ④原料と希釈水とのバランス部はガラス製ですから、内部を目で確かめられ、しかも60～80℃の原料にも使えます。
- ⑤テール排出を特殊改造しますと1～1.5%の濃度で微粒砂の除去も可能です。

■構造

構造は、右図でごらんのように3つの部分に大別されます。上部は、原料出入部分です。中部は、サイクロン流構成筒と上部取付座さらに、本機の特徴である<ガラス・コーン>が取り付けられています。このガラス・コーンで、バランス点における異物の除去の状態を、目で実際に確かめられます。下部は、異物溜、調整水入口、上部ゲート、異物排出口蓋、下部取付座などで構成されています。



■原理

- ①入口より2～3 kg/cm²で加圧された原料はタンジェンシャルに同筒部に吹き込まれ、サイクロン流となって旋回しながらガラス・コーン部に入ります。
- ②ガラス・コーン下部より流入する高水圧は、上昇してガラス・コーンの中間付近で原料と流体バランスを保ちます。
- ③バランスの取れたこの範囲では、原料の濃度が低下し、原料と異物の分離が容易になります。
- ④原料は反転して、中心部を上昇し、原料出口より流出します。
- ⑤サイクロン流による遠心力で、原料中に含まれていた異物はガラス・コーン内壁側に集められ、バランス点で異物は原料と分離します。そして下降し異物溜へ落ち込みます。

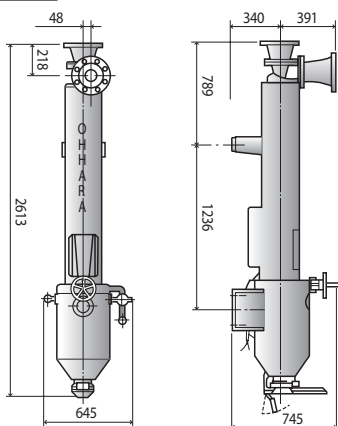
■取出方法

- ①切替弁を排気に切りかえると同時に、上部ゲートを閉じ、異物排出蓋開閉レバーを開きます。
- ②洗浄水で内部をよく洗浄したら、異物排出蓋開閉レバーを閉じ、洗浄水で異物溜の内部を満水にします。
- ③排気孔より水が出始めたら、洗浄水を止め、上部ゲートを全開にすると同時に切替弁を給水にします。
- ④高圧水の流量を調整し、バランス位置を適正に戻して終了となります。以上の操作は、操業中にも行えます。

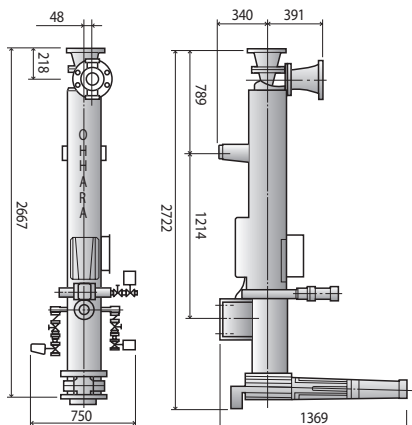
■外形寸法図

HC7型/HC11型

手動排出式

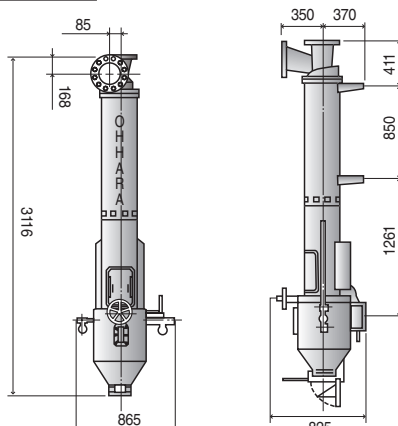


自動排出式

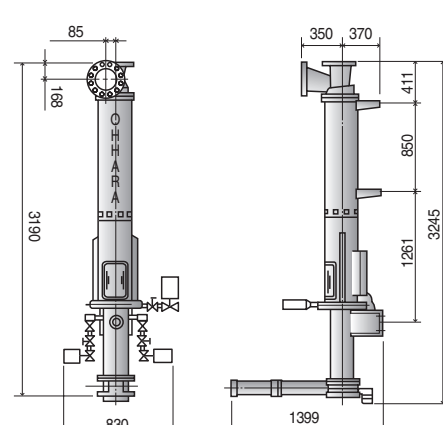


HC19型/HC38型

手動排出式



自動排出式



■能力

型式	HC 7	HC 11	HC 19	HC 38
仕様				
通過量 (ℓ/min)	400～600	800～1000	1300～1800	2500～3500
入口濃度 (80%)	3～5	3～5	3～5	3～5
入口圧力 (kg/cm ²)	2～3.5	2～3.5	2～3.5	2～3.5
出口圧力 (kg/cm ²)	0.1～0.5	0.1～0.5	0.1～0.5	0.1～0.5
異物溜の容量 (ℓ) 手動/自動	50/18	50/18	80/20	80/20
高圧水水量 (ℓ/min)	20～60	20～60	35～60	35～60

型式	HC7型/HC11型	HC19型/HC38型
異物排出方法	手動 自動	手動 自動
出入口フランジ	JIS10K 150A	JIS10K 200A
本機重量 (kg)	380 510	620 750
運転重量 (kg)	450 600	750 900

※本図は参考図面です。

株式会社 大原機械製作所

- 本社工場 〒426-0041 静岡県藤枝市高柳2321-1 TEL.054 (635) 3319 (代表) FAX.054 (635) 9324
- 第2工場 〒426-0041 静岡県藤枝市高柳2326-1 TEL.054 (635) 3379
- 第3工場 〒426-0041 静岡県藤枝市高柳2315-1 TEL.054 (635) 3424